

会議録（要点筆記）

会議の名称	第1回登別市地域福祉推進市民会議
開催日時	令和4年10月31日（月）
開催場所	登別市民会館 1階大会議室
会議内容	1. 委嘱状交付 （1）委嘱状交付 （2）副市長あいさつ 2. 第1回登別市地域福祉推進市民会議 （1）会長及び副会長の選任 （2）会長あいさつ （3）第2期登別市地域福祉計画の検証・評価について （4）孤独・孤立対策プラットフォーム推進事業について （5）次回の日程について

<p>1. 委嘱状交付</p> <p>（1）委嘱状交付</p> <p>（2）副市長あいさつ</p> <p>2. 第1回登別市地域福祉推進市民会議</p> <p>（1）会長及び副会長の選任</p> <p>「登別市地域福祉推進市民会議設置要綱」第5条第1項の規定に基づき、会長に田淵委員が、副会長に木村委員が選出された。</p> <p>（2）会長あいさつ</p> <p>会長より就任のあいさつがあった。</p> <p>（3）第2期登別市地域福祉計画の検証・評価について （会長が議長になる）</p> <p>会 長：第2期登別市地域福祉計画の検証・評価について事務局から説明をお願いします。</p> <p>事務局：資料に沿って説明。</p> <p>会 長：ご意見、ご質問あれば伺いたい。 コロナ禍が深刻化し、病院の受け入れ体制等による影響で自宅待機となり死亡した例を新聞やニュースで見ている。登別の受け入れ等に係る問題や体制の構築等はどうしていったのかを伺いたい。</p>

事務局：7波のピーク時については、病院や保健所の機能が限界を超えて稼働していた。市の保健師も応援体制を組み、自宅待機者へ電話による確認等を行ってきた。

会 長：市民からの問い合わせ等はあったか。

事務局：1波やワクチン摂取の初期の頃は、問い合わせが多かったが、現在は件数も少なくなっている。

会員 A：地域福祉活動が多様であり、1つの計画に集約する難しさがあるが、第3期の評価指標については、事業の参加者数等ではなく、取り組みに対する評価を加えるなど検討する必要があると感じる。普段の取り組みをどのように福祉活動に活用・展開できるのかを意識することで、連携・連動・協働性のある事業になっていくのではないか。
また、このような活動を増やしていくとともに、会議の場でアイデアを出し合い、第3期の評価指標になっていくとよいと思う。

事務局：評価指標についてはアンケート等を行い評価を行う「定性的評価」と参加者人数等で判断する「定量的評価」がありますが、いただいた評価等を基に、今日のような会議で話し合い、良いところは伸ばし、悪いところを正すようにしていきたい。

会員 B：情報提供ですが、登別温泉の街並み再開発事業を令和9年度以降に向けて進めている。
今後、障がいのある方との情報交換をする機会が欲しいと思っている。

会 長：その他、意見等ありませんか。

(意見等なし)

会 長：なければ、第2期登別市地域福祉計画の検証・評価についての確認を終わります。

(4) 孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム推進事業について

会 長：続きまして、官民連携プラットフォーム推進事業について事務局から説明をお願いします。

事務局：パワーポイントに沿って説明（情報提供）

会 長：孤独・孤立について、民生委員の活動で孤独・孤立の把握等はどのようなになっているのか。

委員 C：各地区の協議会では、地域の独居老人や障がい者世帯等のマップ整備を行っている。

事務局：国のデータによれば、最も孤独を感じている層が30代になっており、昨今、孤独・孤立も多種多様になっている。そのため、民生委員の整備しているマップや本事業のアンケート結果等をうまく利用し、情報提供及び活用を行っていききたい。

会 長：その他、質問等ありますか。

（質問等なし）

会 長：なければ、情報提供を終わります。

（5）次回の日程について

会 長：次回の日程等について、事務局から説明をお願いします。

事務局：次回の日程については、今年度内の開催を予定しており、別途通知を送ります。

また、内容についてですが、孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム推進事業の進捗状況、重層的支援体制整備事業に向けた具体的な取り組みについてや来年度以降の登別市地域福祉推進市民会議の活動内容についてご意見等をいただければと思っています。

会 長：日程等に意見ありますか。

（意見なし）

会 長：なければ、第1回登別市地域福祉推進市民会議を終わります。

（19時30分閉会）